

きもちのノート1

気もちのノートは、

うちゅうでいちばんおもしろい ^{ぼく}_{わたし} の気もちを
はっけんして、 ^{ぼく}_{わたし} をぐんぐんそだてるノートです。

じぶんの気もちをはっけんしたら、おうちのひとや
まわりのひとの気もちもきいてみましょう。

おなじ「気もち」なのに「ちがい」をはっけんして
たのしくなってきます。

お家の方へ

気持ちを丁寧に扱う練習帳です。子どもが自分の気持ちを伝える力を育てると同時に、気持ちを通して親子の会話が深まることを目的としています。自分の「気持ち」を書いたり話したりすることで、子どもに限らず大人も意外な発見があり、より深く子どもや自分を知るきっかけになります。

注意事項

- ・気持ちに良い悪いはありません。書いたことを否定せず、そうなんだと受け入れましょう。
- ・子どもたちは今の気持ちをどんな言葉で表現していいか、悩んでいます。気持ちを表す言葉の意味を話し合いましょう。いろんな例を出すとわかりやすいかもしれません。
- ・気持ちは変わります。その時々のお気持ちを大切に取り扱いましょう。

きもちのノート1

月 日 ()

ぼく は
わたし

がおもしろい。

りゆう (えでもいいよ。)

おうちのひと

きもちのノート1

月 日 ()

ぼく は
わたし

がたのしい。
(楽しい)

りゆう (えでもいいよ。)

おうちのひと

きもちのノート1

月 日 ()

ぼく は
わたし

がうれしい。

りゆう (えでもいいよ。)

おうちのひと

きもちのノート1

月 日 ()

ぼく は
わたし

をよろこぶ。

りゆう (えでもいいよ。)

おうちのひと

きもちのノート1

月 日 ()

ぼく は
わたし

がきもちがいい。

りゆう (えでもいいよ。)

おうちのひと

きもちのノート1

月 日 ()

ぼく は
わたし

があんしん。
(照れます)

りゆう (えでもいいよ。)

おうちのひと

きもちのノート1

月 日 ()

ぼく は
わたし

がへいき。
(照れます)

りゆう (えでもいいよ。)

おうちのひと

きもちのノート1

月 日 ()

ぼく は
わたし

がすき。
(照れます)

りゆう (えでもいいよ。)

おうちのひと

きもちのノート1

月 日 ()

ぼく は
わたし

におどろく。
(照れます)

りゆう (えでもいいよ。)

おうちのひと

きもちのノート1

月 日 ()

ぼく は
わたし

にかんしんする。
(感心する)

りゆう (えでもいいよ。)

おうちのひと

きもちのノート1

月 日 ()

ぼく は
わたし

がうらやましい。
(照れます)

りゆう (えでもいいよ。)

おうちのひと

きもちのノート1

月 日 ()

ぼく は
わたし

がわすれられない。

りゆう (えでもいいよ。)

おうちのひと

きもちのノート1

月 日 ()

ぼく は
わたし

が気もちがわるい。

りゆう (えでもいいよ。)

おうちのひと

きもちのノート1

月 日 ()

ぼく は
わたし

がしんぱい。

りゆう (えでもいいよ。)

おうちのひと

きもちのノート1

月 日 ()

ぼく は が こわい。
わたし

りゆう (えでもいいよ。)

おうちのひと

きもちのノート1

月 日 ()

ぼく は がきらい。
わたし

りゆう (えでもいいよ。)

おうちのひと

きもちのノート1

月 日 ()

ぼく は
わたし

がつまらない。

りゆう (えでもいいよ。)

おうちのひと

きもちのノート1

月 日 ()

ぼく は
わたし

がくるしい。

りゆう (えでもいいよ。)

おうちのひと

きもちのノート1

月 日 ()

ぼく は
わたし

がさびしい。

りゆう (えでもいいよ。)

おうちのひと

きもちのノート1

月 日 ()

ぼく は
わたし

がかなしい。

りゆう (えでもいいよ。)

おうちのひと

きもちのノート1

月 日 ()

ぼく は が こまる。
わたし

りゆう (えでもいいよ。)

おうちのひと

きもちのノート1

月 日 ()

ぼく は
わたし

がくやしい。

りゆう (えでもいいよ。)

おうちのひと

きもちのノート1

月 日 ()

ぼく は
わたし

がざんねん。

りゆう (えでもいいよ。)

おうちのひと

きもちのノート1

月 日 ()

ぼく は
わたし

がおそろしい。

りゆう (えでもいいよ。)

おうちのひと